

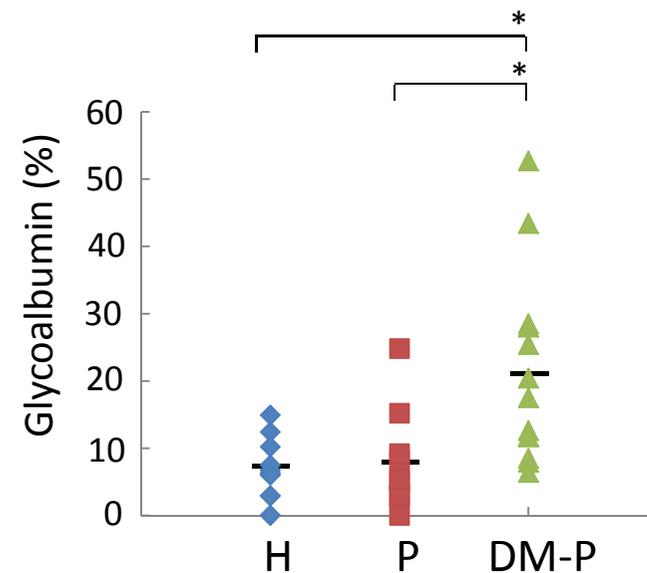
研究テーマ 2型糖尿病患者の歯周病マーカーの開発
 所属氏名等 徳島大学大学院HBS研究部歯周歯内治療学分野・永田俊彦

【研究シーズ概要】

糖尿病と歯周病との関連は深く、最近の研究から歯周病の存在が糖尿病の増悪に
 関与していることが明らかにされている。糖尿病関連歯周炎の病態を反映するバイオ
 マーカーは明らかにされておらず、糖尿病関連歯周炎の病態をを正確に把握することは
 臨床上、意義あるテーマである。

本研究では、歯肉溝滲出液中に含まれる
 バイオマーカーの微量定量を行うことによって
 歯周病でない人、歯周病の人、糖尿病で歯周病
 の人の3者での違いを見出し、糖尿病関連歯周炎
 の特徴的マーカーを同定しようとするものである。
 右図は我々の予備実験における歯肉溝滲出液中
 のグリコアルブミンの3者での比較である。糖尿病
 の歯周炎患者群に有意に高い値がみられる。
 このほかレジスチンなどの測定を現在行っている。

GA level in GCF from H, P and DM-P



【(想定される)応用範囲／今後の展望】

将来的には歯科臨床のチェアサイドでの「糖尿病患者の歯周病診断キット」の開発
 へと発展させたい。